

# 農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

地域の合意形成の下、侵入防止柵の設置や生息環境管理を地域住民が中心となって行っているほか、小学校や農業高校との連携により人材育成にも取り組んでおり、農作物被害を大幅に削減。

しかまちょうゆうがいちょうじゅうたいさくきょうぎかい

## 色麻町有害鳥獣対策協議会

（会長：早坂 利悦）

はやさか

りえつ

かみぐんしかまちょう

宮城県加美郡色麻町

### 主な取組

- 侵入防止柵の設置について、設置が必要な行政区や今後被害が見込まれる行政区に対し、専門的な知見を有するアドバイザーの協力を得ながら現地調査や説明会を開催し、地域から合意が得られるよう努めている。柵の設置や生息環境管理は地域住民が中心に、加美農業高校の生徒にも協力を仰ぎながら実施している。
- 令和2年度にマクセルフロンティア（株）と連携し、IoT（獣害捕獲監視システムマタギっ娘）の実証実験を行った結果、わな設置に伴う見回りの省力化に繋がった。
- 小学生向けの勉強会の開催や、加美農業高校で総合学習の時間を活用し、「獣害対策地域連携学習」に取り組むことで、児童・生徒の意識醸成に取り組んでいる。
- 侵入防止柵の維持管理については設置行政区と管理委託契約を締結し、農繁期の前（3～4月）には広報誌等で柵周辺の草刈りや点検の実施等を呼びかけている。柵の設置場所を他地域の耕作者や地権者が管理している場合、設置地域の行政区長等が意見の合意形成を図った上で柵を設置している。

【被害金額（色麻町）】

約270万円（平成28年度）→約80万円（令和2年度）